



デング熱の国内感染症例報告が増えています。



デング熱は蚊が媒介する（デング）ウイルスによる疾患で東南アジアや中南米が流行地域であり、日本国内で感染した症例は過去60年以上報告されていませんでした。

しかし、8月27日に国内でデング熱に感染した患者の報告があり、その後9月8日現在で80人となっています。いずれも海外渡航歴はなく、代々木公園周辺への訪問歴のある方ですが、代々木公園に限らず、蚊に刺されて3～7日程度で高熱が出た場合は早めに医療機関にかかって下さい。

《 デング熱とは？ 》

詳細は[厚労省デング熱Q&A](#)で検索してください。

- 症状 3～7日の潜伏期間の後に発熱、頭痛、筋肉痛、発疹等が出現する。
予後は比較的良好であるが、まれに重症化する。
- 感染経路 ヒト（患者）⇒蚊⇒ヒトという経路で感染するため、ヒトからヒトに直接感染はしない。
- 治療法 現在有効な抗ウイルス薬はないので、対症療法が主体である。
- 予防方法 蚊との接触を避け、刺されないようにすることが重要。

結核は過去の病気ではありません。



日本国内において結核は今でも1日に58人の新しい患者が報告されており、また1日に6人が命を落としている重大な感染症です。

結核に感染しても、健康で体力があれば免疫力によって、結核の発病は抑えられます。しかし栄養状態が悪い場合や、加齢とともに免疫が低下すると、結核を発病する危険性が高くなります。右記のような症状がある場合には早めに医療機関にかかって下さい。

《こんなときは病院へ！》



～医療機関、市町、学校、施設関係の方々へ～

＜結核健康診断月報の提出について＞結核のまん延予防のために健診は非常に大切です。健診を実施し、別添様式によって当センターまでご報告ください。

9月24日～30日は結核予防週間です。
結核に関する情報は[結核研究所](#)で検索。

～保育所、幼稚園、小中学校、高等学校等の方々へ～

9月1日からインフルエンザ様疾患の集団発生状況の把握を開始しましたので、「学校欠席者情報収集システム」への入力をお願いします。

福井県感染症発生動向調査速報

(第32週 H26年8月4日～第35週 H26年8月31日)

- 2類:結核 13名(3名)
 - 3類:腸管出血性大腸菌感染症 6名(1名)
 - 4類:E型肝炎 1名(0名)、レジオネラ症1名(0名)
- * ()内は若狭管内の発生

[発行者] 若狭健康福祉センター
地域保健課 田地・宮下
TEL : 0770-52-1300 FAX:0770-52-1058
メール: w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp
※ご意見ご感想をお待ちしています。